

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年10月06日

計画の名称	次世代に引き継ぐ三田の下水道に向けて（3）（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	三田市														
計画の目標	下水道施設の計画的な整備・再構築により、市民の暮らしを守る。														

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	①持続可能な下水道事業の実現を図るため、ストックマネジメント計画に基づき計画的で効率的な長寿命化対策を行う。			
	①ストックマネジメント計画に基づく管渠における点検調査実施率 点検調査実施管渠延長／点検調査が必要な管渠延長（L＝56.1km）	0%	50%	100%
2	②総合地震対策計画に基づく重要な管渠の耐震化対策率を0%（R2）から100%（R6）に増加させる。			
	②総合地震対策計画に基づく重要な管渠の耐震化対策実施率 耐震化実施管渠延長／耐震化が必要な管渠延長（L＝1.1km）	0%	46%	100%
3	③都市部における雨水貯留タンク設置戸数を年40戸増加させる。			
	③都市部における雨水貯留タンク設置戸数率 雨水貯留タンク設置戸数／雨水貯留タンク設置目標戸数（N＝279戸）	28%	64%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援事業	老朽化対策事業（管渠）	三田市	■	■	■	■	■	172		策定済
	A07-002	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 雨水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援事業	老朽化対策事業（管渠）	三田市	■	■	■	■	■	119		策定済
	A07-003	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 汚水）	改築	下水道ストックマネジメ ント支援事業	老朽化対策工事（マンホール ポンプ）	三田市	■	■	■	■	■	106		策定済
	A07-004	下水道	一般	三田市	間接	個人	－	新設	新世代下水道支援事業	雨水貯留タンク設置補助	三田市	■	■	■	■	■	6		－
	A07-005	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 汚水）	改築	総合地震対策事業	耐震化事業（管渠）	三田市		■	■	■	■	133		策定済
	A07-006	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 雨水）	改築	総合地震対策事業	耐震化事業(管渠)	三田市		■	■	■	■	126		策定済
	A07-007	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 汚水）	新設	総合地震対策事業	マンホールトイレ整備工事	三田市	■	■	■	■		84		策定済

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											小計						746			
											合計						746			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	三田市	直接	三田市	管渠（ 污水）	新設	総合地震対策事業	マンホールトイレ整備工事（ 上部）	三田市	■	■	■	■		4		策定済
		一体的に整備することにより災害発生時のトイレ環境を良好に保つ事ができる。																	
											小計						4		
											合計						4		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三田市内部にて評価を実施	令和8年9月
	公表の方法
	三田市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づき、計画的に下水道管渠の点検・調査を実施することで、管渠の劣化状況を把握し、適切な修繕・改築につなげることができた。これにより、下水道施設の機能維持及び長寿命化が図られた。 ・総合地震対策計画に基づき、重要な施設の耐震化を計画的に実施したことにより、地震時における下水道機能の確保及び被害の軽減が図られた。 ・都市部における雨水貯留タンクの設置を促進することで、各家庭等における雨水の一時貯留が図られ、雨水流出の抑制及び浸水被害の軽減につながった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、地震対策、浸水対策を行い、市民の安心・安全の確保、公共用水域の水質保全、持続的な下水道サービスの提供を図っていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	最 終 目標値	100%	当初は、耐震性能不足が想定される管渠を対象に耐震化を進める計画としていたが、耐震診断結果を踏まえて優先順位を見直し、特に優先度の高い伏越しマンホールを先行して耐震化する計画へ変更したため。
	最 終 実績値	0%	
3	最 終 目標値	100%	補助申請の促進を図るための周知、PRの不足が要因と考えられる。
	最 終 実績値	18%	